

## 第84回

# 神戸市上下水道事業審議会資料

### 目 次

- 1 「平成25年度 神戸市水道事業主要施策等」について . . . . .資料1
- 2 「平成25年度 神戸市下水道事業主要施策等」について . . . . .資料2
- 3 専門部会（次期「神戸水道ビジョン」検討委員会）の審議状況について  
. . . . .資料3
- 4 参考
  - ア 平成25年度 神戸市水道事業会計決算説明書
  - イ 平成25年度 神戸市下水道事業会計決算説明書

平成26年11月25日

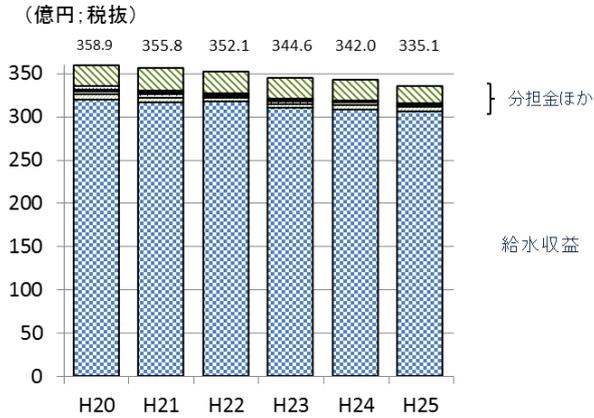
神戸市

平成 25 年度 神戸市水道事業主要施策等

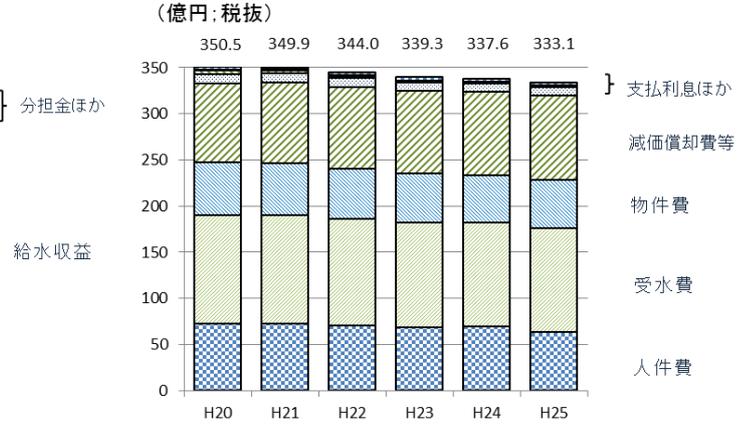
I 決算の状況

1 経営収支

(1) 収益の推移

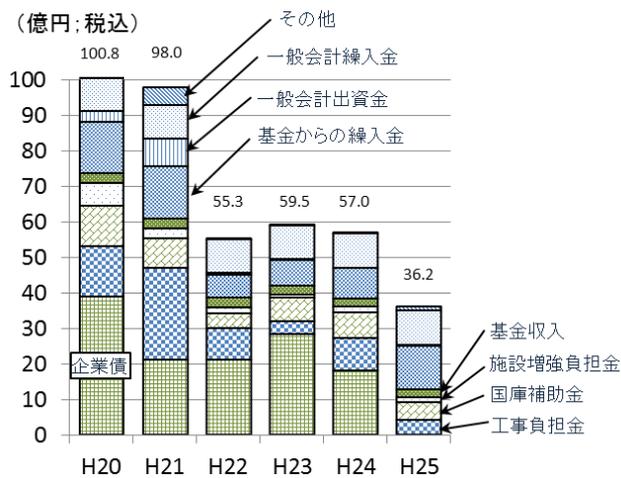


(2) 費用の推移

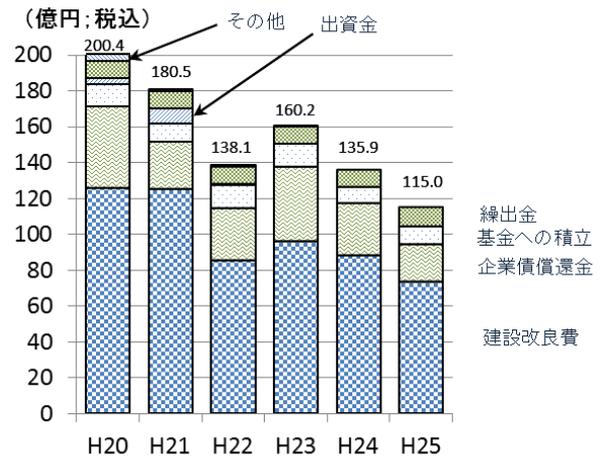


2 資本的収支

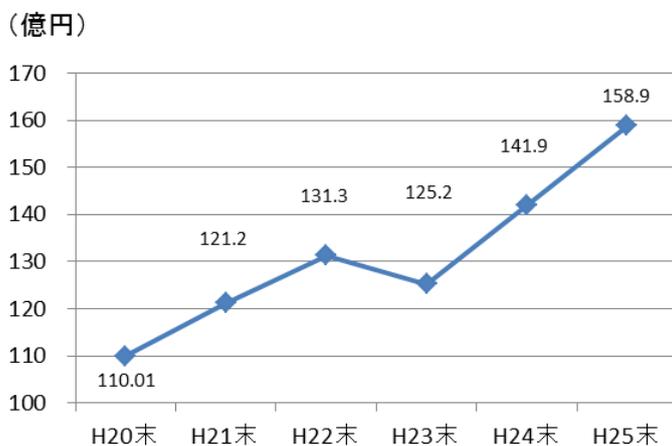
(1) 収入の推移



(2) 支出の推移



3 資金量 (留保資金) の推移

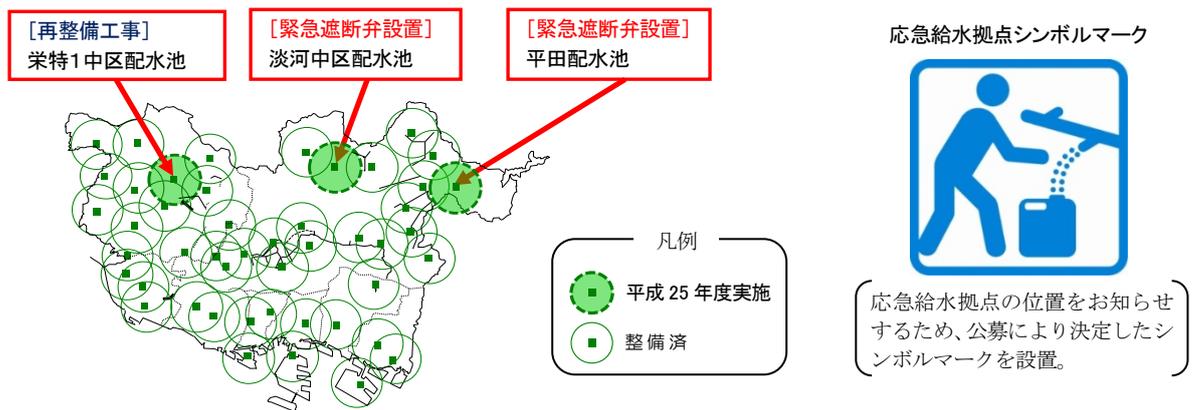


## II 主要施策

### 1 災害・事故時対応力の強化

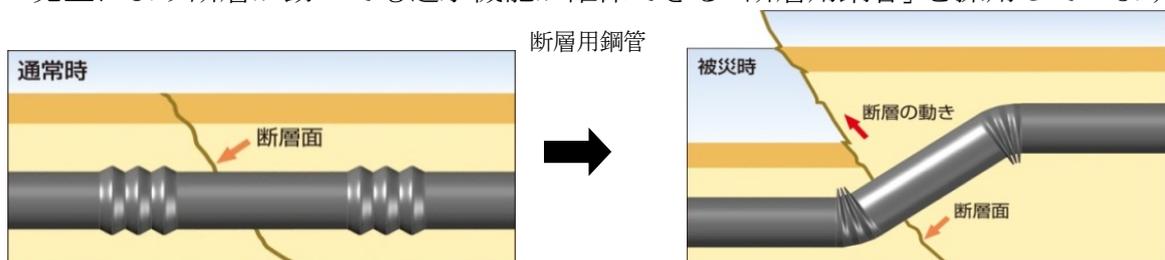
(1) 災害・事故直後における水源の確保 (事業費：2,077百万円)

- ◆ 災害直後等に応急給水に必要な水を確保するため、**応急給水拠点（緊急貯留システム）の整備**を進めてきました。応急給水拠点は給水タンク車の補給基地になります。また、応急給水栓による飲料水の供給も行います。市内全域をカバーするため、概ね半径2kmに1か所（全47か所）の整備を進めていましたが、平成25年度で整備を完了しました。現在は、一定の条件が整っているところについて、災害直後に地域主体で応急給水栓を設置していただけるよう地域団体との連携を進めています。



- ◆ 本市の水源の大半を担う琵琶湖・淀川水系の水は、六甲山中を通る2本の送水トンネルにより送水していましたが、新たに市街地の地下に**大容量送水管の整備**を進めています。送水機能の強化を図るとともに、災害・事故時のリスク分散や既設トンネルの更生工事实施時のバックアップを行う等の役割を有しています。また、災害時に、管内に貯留された水を利用することで、市街地における応急給水に対応します。

本工事は、平成13年施行の「大深度地下使用法」（大深度の地下空間について、地権者の補償なしに利用できる）が適用された初めての事例で、延長の短い直線的なルートを採用することで、工事費の縮減等を図っています。また、全国で初めて、地震の発生により断層が動いても送水機能が確保できる「断層用鋼管」を採用しています。



- ◆ また、災害時に隣接市間で給水を相互応援するための**緊急時連絡管の整備**を進めています。平成25年度は西宮市との間に新たに1か所の整備を行い、計5都市の間に9か所を整備しています。

#### (25年度実績)

- ・ 応急給水拠点（緊急貯留システム）の整備 新規2か所（計47か所の整備完了）
- ・ 大容量送水管の整備 布引立坑～奥平野浄水場間
- ・ 緊急時連絡管の整備 西宮市との連絡管整備（2か所目）

## (2) 施設の耐震化 ～より身近なところで水を確保するために～

(事業費：3,254 百万円)

災害時等に、より身近なところで水を確保できるよう、**防災拠点（小学校等）に至るルート**の耐震化や**配水管の幹線・支線のメッシュ状の耐震化**を進めています。ルート全てが耐震化された防災拠点（小学校等）には、そのシンボルとして、「いつでもじゃぐち」の整備を進めています。普段は水飲み場として利用していただきますが、非常時には応急給水栓として活用していただくこととしており、**地域団体との防災訓練**等も実施しています。

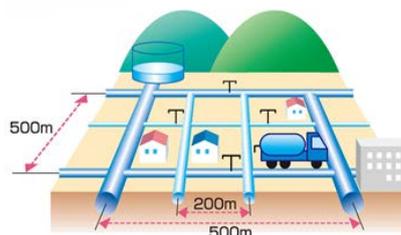
### (25 年度実績)

- ・いつでもじゃぐちの整備 3 か所設置（計 33 か所に整備済）
- ・配水管の耐震化 26.9km（耐震化率 34.6%、耐震化適合率 66.1%）
- ・防災訓練回数 70 回

いつでもじゃぐち



格子状の管路の耐震化



防災訓練



## 2 民間活力（競争性）の導入

平成 3 年より神戸市水道サービス公社に委託してきた**水道メーター検針業務**について、平成 19 年度より競争性を導入し、H25 年度に**市域全域で競争性導入**が完了しました。

また、**期間満了メーター取替業務**についても、東部センター管内の戸建住宅 3,000 戸を対象に**モデル実施**を行い、地元民間企業の一定の履行能力が確認できました。

### (25 年度実績)

- ・水道メーター検針業務 全市導入
- ・期間満了メーター取替業務 モデル実施  
(東部センター管内戸建住宅 3,000 戸)

## 3 お客さま利便性の向上

水道の利用開始・中止の申込については、これまで 5 か所のセンターで、電話等により受け付けてきましたが、平成 26 年 1 月 6 日から「**水道局お客さま電話受付センター**」を開設して窓口を一本化しました。これにより、市内転居の場合の閉栓及び開栓手続きが一元化された他、繁忙期（2 月中旬～4 月中旬）の土曜日も受け付けるようになりました。





### Ⅲ 平成25年度 水道事業会計決算の概要

(1) 経営収支(税抜額)

(単位: 億円)

区 分 項 目		平成25年度 決算 (1)	平成24年度 決算 (2)	対前年度決算		主な増減理由
				差 引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100	
収 益	給 水 収 益	306.2	308.3	▲ 2.1	▲ 0.7	有収水量の減
	分 担 金	5.1 (510百万円)	5.1 (511百万円)	0.0 (▲1百万円)	▲ 0.2	対象件数の減
	基金からの繰入金	0.5	2.5	▲ 2.0	▲ 80.0	基金繰入計画の見直しによる
	受 取 利 息	1.6	1.5	0.1	4.8	運用資金量の増等
	一般会計繰入金 ( 阪 水 分 )	1.9	1.2	0.7	57.5	「地域の元気臨時交付金」 の交付による増
	そ の 他 収 益	19.8	23.4	▲ 3.6	▲ 15.3	
	合 計(A)	335.1	342.0	▲ 6.9	▲ 2.0	
費 用	人 件 費	63.6	69.3	▲ 5.7	▲ 8.3	支給延べ人数の減等
	受 水 費	112.7	112.7	0.0	0.0	
	物 件 費	52.4	51.8	0.6	1.1	動力費の増等
	減価償却費等	91.5	90.4	1.1	1.2	
	支 払 利 息	8.4	8.8	▲ 0.4	▲ 4.4	企業債残高及び平均利率 の減
	繰 出 金 ( 阪 水 分 )	1.9	1.2	0.7	57.5	「地域の元気臨時交付金」 の交付による増
	そ の 他 費 用	2.6	3.4	▲ 0.8	▲ 23.1	
合 計(B)	333.1	337.6	▲ 4.5	▲ 1.4		
当年度損益 (C)=(A)-(B)		2.0	4.4	▲ 2.4	▲ 53.5	
前年度末累積損益 (D)		43.4	41.3	-	-	
利益処分(減債積立金、 建設改良積立金) (E)		▲ 2.0	▲ 2.3	-	-	
翌年度繰越利益剰余金 (F)=(C)+(D)+(E)		43.4	43.4	-	-	

※伸び率は千円単位で計算

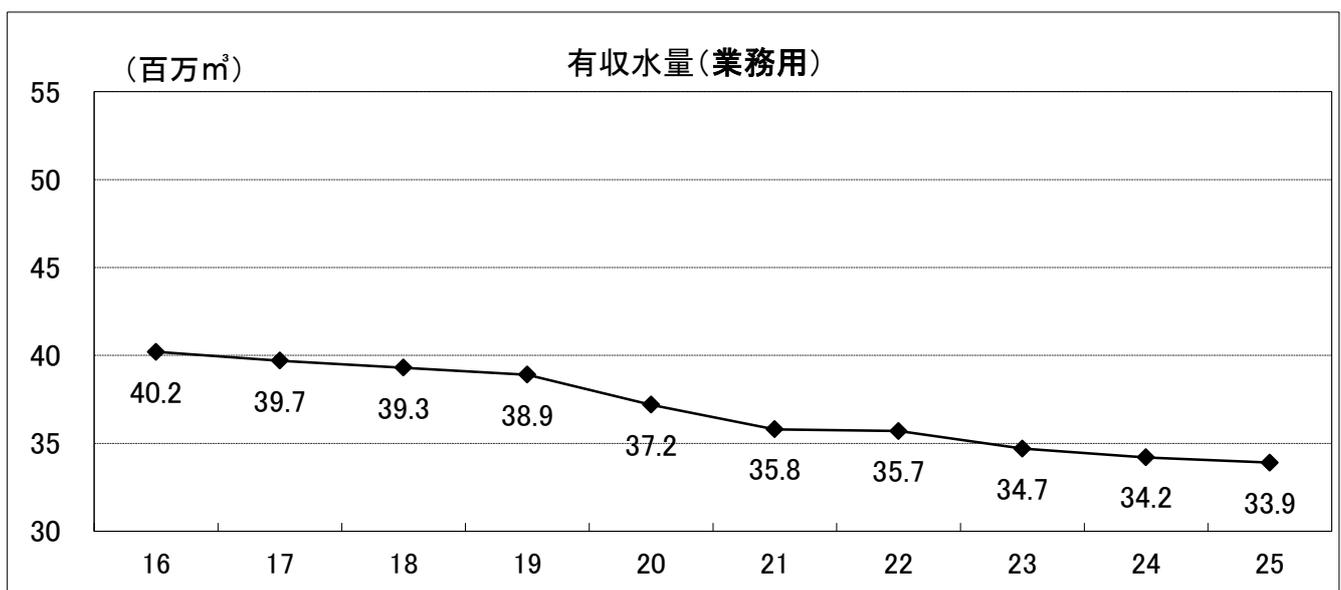
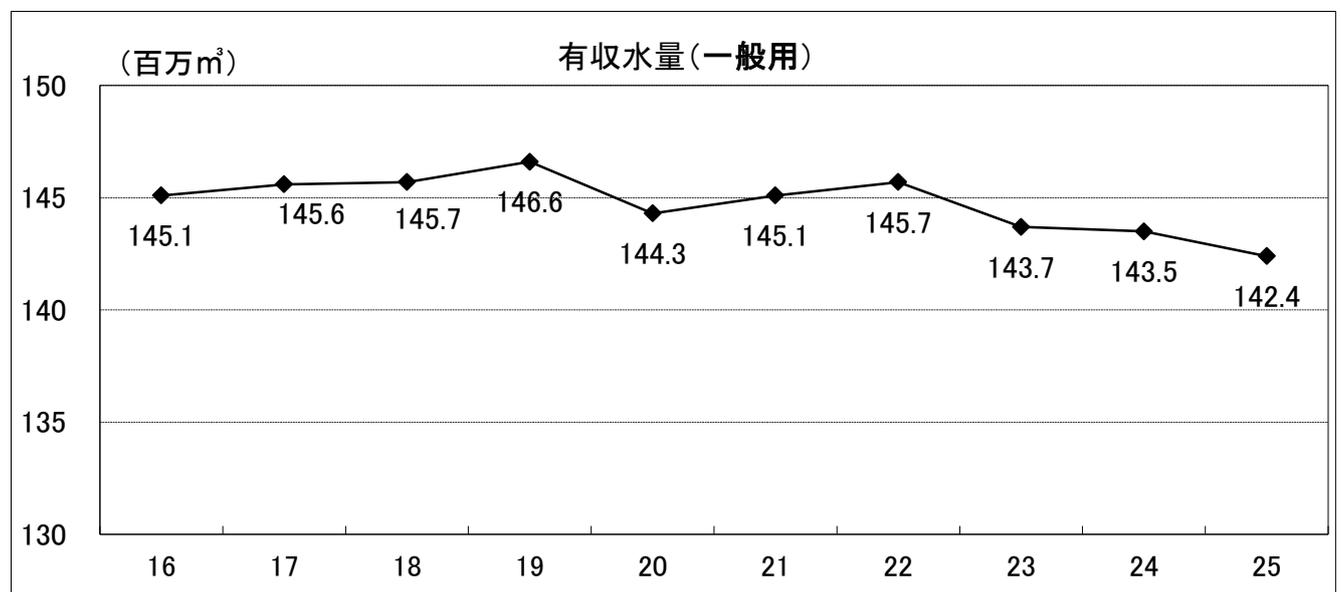
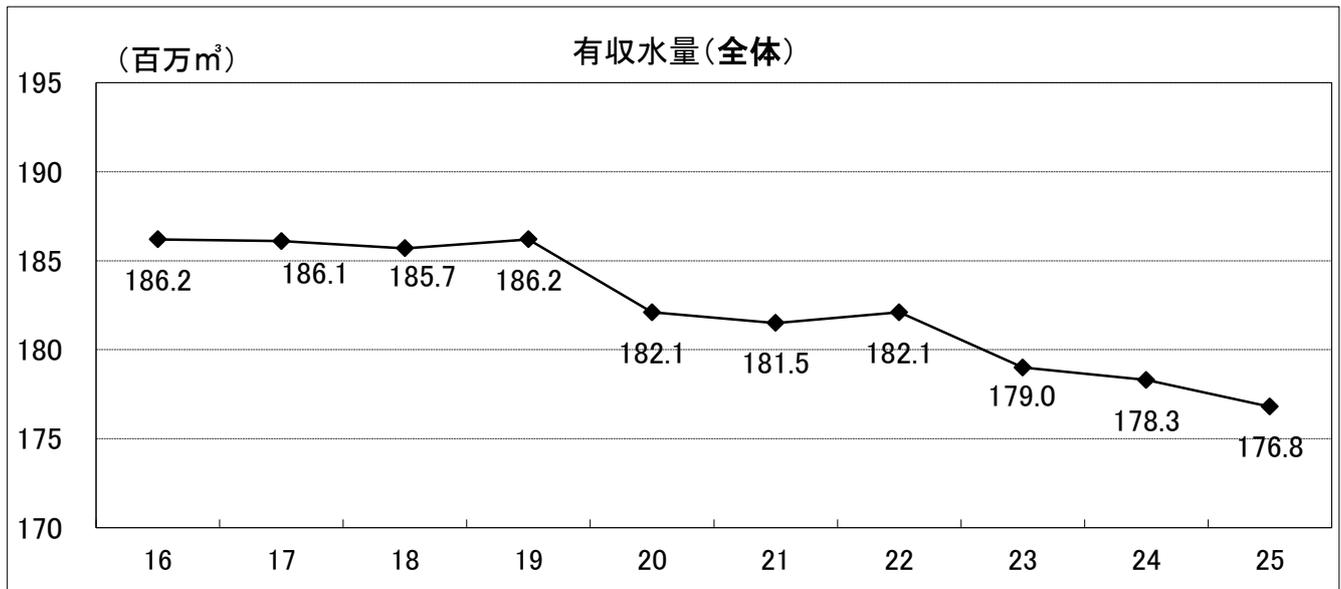
[参考 1]

経営収支（税抜額）〔平成25年度予算・決算比較〕

（単位：億円）

項目	区分	平成25年度 決算 (1)	平成25年度 当初予算 (2)	予算決算対比	主な増減理由
				差引 (3)=(1)-(2)	
収 益	給水収益	306.2	305.5	0.7	有収水量の増
	分担金	5.1	4.3	0.8	新規件数の増
	基金からの繰入金	0.5	2.5	▲ 2.0	給水収益, 分担金の増による繰入金の減
	受取利息	1.6	1.5	0.1	
	一般会計繰入金 (阪水分)	1.9	0.8	1.1	「地域の元気臨時交付金」の交付による増
	その他収益	19.8	21.8	▲ 2.0	
	合計(A)	335.1	336.4	▲ 1.3	
費 用	人件費	63.6	66.8	▲ 3.2	
	受水費	112.7	112.7	0.0	
	物件費	52.4	52.1	0.3	動力費の増等
	減価償却費等	91.5	92.5	▲ 1.0	建設改良工事の減
	支払利息	8.4	8.7	▲ 0.3	企業債残高及び平均利率の減
	繰出金 (阪水分)	1.9	0.8	1.1	「地域の元気臨時交付金」の交付による増
	その他費用	2.6	2.7	▲ 0.1	
合計(B)	333.1	336.3	▲ 3.2		
当年度損益 (C)=(A)-(B)		2.0	0.1	1.9	
前年度末累積損益 (D)		43.4	41.4	—	
利益処分(減債積立金、 建設改良積立金) (E)		▲ 2.0	0.0	—	
翌年度繰越利益剰余金 (F)=(C)+(D)+(E)		43.4	41.5	—	

(2) 業務量の推移



※ 有収水量(全体)には、一般用、業務用のほかに、公衆浴場用等を含んでいる。  
18年度における工業用水道への分水は除いている。

## (3) 資本的収支 (税込額)

(単位：億円)

項目		区分	平成25年度 決算 (1)	平成24年度 決算 (2)	対前年度決算	
					差引 (3)=(1)-(2)	伸び率(%) (3)/(2)×100
収      入	企業債		0.0	18.4	▲ 18.4	▲ 100.0
	工事負担金		4.4	9.1	▲ 4.7	▲ 51.6
	国庫補助金		4.9	7.2	▲ 2.3	▲ 31.5
	施設増強負担金		1.6	1.7	▲ 0.1	▲ 0.2
	基金収入 (基金の運用益)		2.1	2.3	▲ 0.2	▲ 8.9
	基金からの繰入金		12.3	8.4	3.9	46.5
	一般会計繰入金		9.9	9.8	0.1	0.9
	その他		1.0	0.1	0.9	660.5
	合計(A)		36.2	57.0	▲ 20.8	▲ 36.4
支      出	建設改良費		73.2	88.2	▲ 15.0	▲ 17.0
	基幹施設整備工事費		25.5	32.4	▲ 6.9	▲ 21.2
	配水管整備増強工事費		32.5	33.5	▲ 1.0	▲ 2.9
	開発団地施設工事費等		15.2	22.3	▲ 7.1	▲ 32.1
	企業債償還金		21.1	29.2	▲ 8.1	▲ 27.6
	基金への積立		10.2	8.7	1.5	17.1
	繰出金		10.5	9.8	0.7	7.0
	合計(B)		115.0	135.9	▲ 20.9	▲ 15.4
収支差引(A)-(B)			▲ 78.8	▲ 78.9	0.1	—

※伸び率は千円単位で計算

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額78.8億円(翌年度繰越額に充当される収入を含む)は、損益勘定留保資金等で補てんした。

[参 考 2]

平成25年度末 神戸市水道事業会計貸借対照表

(単位：百万円)

借 方		貸 方	
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
<b>固 定 資 産 321,397</b>		<b>固 定 負 債 6,388</b>	
有形固定資産 287,054		引 当 金	3,410
土 地	32,553	受水費高騰対策勘定	2,978
建 物	21,135	<b>流 動 負 債 6,926</b>	
構 築 物	365,785	未 払 金	3,129
機 械 及 び 装 置	53,285	前 受 金	1,173
車 両 運 搬 具	407	その他流動負債等	2,624
船 舶	16	<b>資 本 の 部</b>	
工具器具及び備品	3,607	<b>資 本 金 124,239</b>	
建 設 仮 勘 定	21,978	自 己 資 本 金	86,802
減価償却累計額 ▲	211,712	借 入 資 本 金	37,437
無形固定資産 111		企 業 債	37,437
施 設 利 用 権	16	<b>剰 余 金 207,551</b>	
ソ フ ト ウ ェ ア	95	資 本 剰 余 金 198,666	
投 資	34,232	受 贈 財 産 評 価 額	11,527
投 資 有 価 証 券	9,595	国 庫 補 助 金	26,315
出 資 金	1,009	一 般 会 計 補 助 金	6,850
基 金	21,620	工 事 負 担 金	129,554
そ の 他 投 資	2,008	施 設 増 強 負 担 金 等	24,420
<b>流 動 資 産 23,669</b>		利 益 剰 余 金 8,885	
現 金 預 金	19,034	減 債 積 立 金	0
未 収 金	2,472	建 設 改 良 積 立 金	4,344
貯 蔵 品	329	未 処 分 利 益 剰 余 金	4,541
前 払 金	704		
その他流動資産等	1,130		
<b>繰 延 勘 定 38</b>			
開 発 費	38		
<b>合 計 345,104</b>		<b>合 計 345,104</b>	

[参 考 3]

平成25年度末 神戸市水道事業会計キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

区 分		平成25年度	対前年度増減	平成24年度
項 目				
I 営業活動によるキャッシュフロー		10,148	739	9,409
	当 期 純 利 益	204		437
	基金繰入金（営業外収益）	△ 50		△ 250
	減 価 償 却 費	8,841		8,855
	未 収 金 の 増 減	△ 70		114
	引 当 金 の 増 減	100		717
	未 払 金 の 増 減	△ 145		△ 165
	その他の流動資産・負債の増減等	1,268		△ 299
II 投資活動によるキャッシュフロー		△ 4,277	3,785	△ 8,062
	建 設 改 良 費	△ 7,320		△ 8,822
	投 資（基金への積立）	△ 1,011		△ 863
	基金繰入金（資本的収入）	1,231		840
	基金繰入金（営業外収益）	50		250
	投 資 有 価 証 券	1,599		299
	そ の 他	1,174		234
III 財務活動によるキャッシュフロー		△ 1,946	△ 3,000	1,054
	企 業 債	0		1,840
	工 事 負 担 金	0		905
	国 庫 補 助 金	0		720
	一 般 会 計 補 助 金	0		6
	一 般 会 計 出 資 金 等	0		0
	企 業 債 償 還 金	△ 2,113		△ 2,916
	繰 出 金 等	△ 1,053		△ 984
	そ の 他	1,220		1,483
IV 当期現金預金増減額		3,925	1,524	2,401
V 現金預金期首残高		15,108	2,400	12,708
VI 現金預金期末残高		19,034	3,925	15,109

#### Ⅳ「中期経営目標2015」の進捗状況について

##### 1. 「事業目標」及び「施策目標」の進捗状況（平成25年度）

施策目標	目標値	25年度実績
<b>事業目標1 安心:安心しておいしく飲める水をお届けします</b>		
安全でおいしい水の実現	カビ臭から見たおいしい水達成率 毎年度:75% (※)	25年度実績:80%
受水槽及び給水装置内の水質管理の適正化	より積極的に受水槽の適正な管理についての啓発や直結給水の促進を図る。	受水槽の管理に関する啓発資料の送付、アンケート調査の実施 (1,000件) 直結給水に係るPRの実施
<b>事業目標2 安定:いつでも安定して使える水道を実現します</b>		
緊急貯留システムの整備による応急給水体制の充実	緊急貯留システムの整備箇所数 25年度目標:47箇所	25年度実績:47箇所
配水管の更新・耐震化の計画的推進	配水管の耐震化率 27年度目標:36%	25年度実績:34.6%
<b>事業目標3 満足度:お客さまの高い満足度を得て信頼を確保します</b>		
お客さまニーズ等の変化に対応したサービスの提供	水道局の取り組みについて満足されているお客さまの割合 67%の達成、維持	25年度実績:63.3%
お客さまに応じたきめ細かで効果的な広報の推進	水道局の広報活動について満足されているお客さまの割合 51%の達成、維持	25年度実績:26.1%
<b>事業目標4 持続:将来にわたって健全な経営を維持し、持続可能な水道事業を目指します</b>		
時代の変化に伴い生じた課題への対応	社会経済情勢や水需要構造など、水道事業を取り巻く環境の変化に伴い生じた様々な課題への対応を進める。	水道水を地下水等の補給水として利用する水道利用者への対応、新規届出の受理・協定の締結(24件) 既存の地下水利用者への制度の啓発活動強化

<b>事業目標5 環境:環境にやさしい水道を目指します</b>		
<b>電力使用量及びCO2排出量の削減</b>	<b>27年度目標</b> 電力使用量：5,968万kWh (22年度実績比△6.2%) CO2排出量：18,570t-CO2 (22年度実績比△4.9%)	<b>25年度実績</b> 電力使用量：6,048万kWh (22年度実績比△5.0%) CO2排出量：29,399t-CO2 (22年度実績比+50.6%) (電力会社において火力発電の割合が増え、CO2排出量の算定に用いる「CO2排出係数」が上昇しているため、目標値を上回っている)
<b>事業目標6 新たな展開:広い視野と社会に貢献する視点を持って水道事業の新たな展開を目指します</b>		
<b>国際貢献・国際化施策の推進</b>	国際貢献の新たな取り組みとして、一連の水循環システム・都市整備等神戸市(外郭団体)が蓄積してきたまちづくりの経験やノウハウ、震災の教訓を活用し、海外展開を目指す地元企業等に対して積極的に協力する。	海外展開に関する相互協力協定を締結している地元企業への継続的支援 地元企業1社と相互協力協定締結(計4社)

**※カビ臭から見たおいしい水の達成率：**

カビ臭物質(ジェオスミン、2-メチルイソボルオール)の水質基準値に対する割合を示す業務指標(たとえば、それぞれの最大濃度が、基準値の1/4以下であれば75%を達成できる。また、共に水質基準値になるか、ひとつが水質基準値の2倍になれば0%となる。)

--

**2. 財政の状況(平成24年度～平成27年度)**

(単位：億円)

区分 \ 年度	24年度決算	25年度決算	26年度	27年度
<b>収入</b>	342	335	345	345
うち水道料金	308	306	310	309
<b>支出</b>	338	333	345	344
うち維持管理費	128	124	128	126
うち減価償却費	89	88	94	94
<b>当年度損益</b>	4	2	0	1
<b>累積損益</b>	46	45	39	41